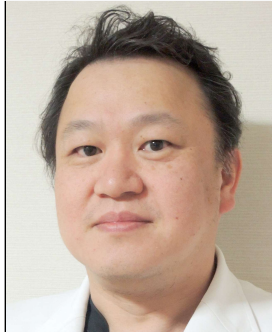


神経膠腫オルガノイドバンク構築による個別化治療の開発

① 共同研究・産学連携への意気込み



講師
高橋 義信

神経膠腫の3次元オルガノイドの安定的な樹立方法を確立し、薬物スクリーニングによる薬剤感受性試験技術を高め、個別化治療に発展させることを目的にしています。

② 想定される連携先・移転先

構築したオルガノイドバンクは、神経膠腫の治療研究施設が活用することによって、神経膠腫の新たな治療薬の開発や分子病態の解明へのブレークスルーとなることが期待されます。

キーワード

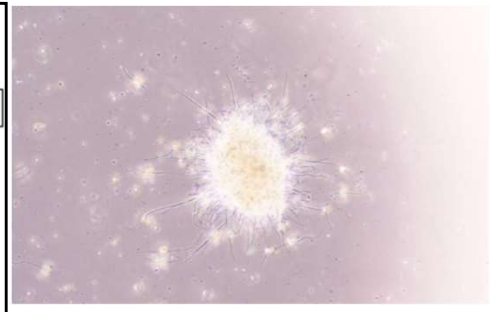
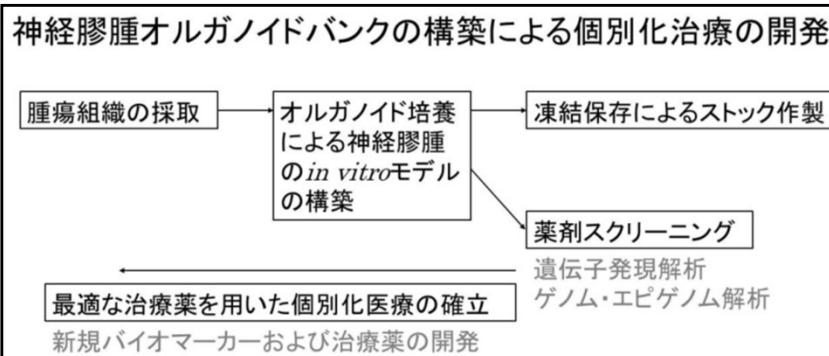
神経膠腫、オルガノイド、個別化治療

研究内容

従来の培養系である2次元細胞培養法では元の細胞の性質が失われることが知られており、2次元細胞を用いて薬剤スクリーニングした結果は臨床試験の結果と乖離する 경우가多く問題となっています。そこで、本研究では神経膠腫の3次元オルガノイドを用います。

安定的な樹立方法を確立し、次世代シーケンサーによって得られた候補薬剤を用いて、3次元オルガノイドに対する薬剤感受性試験を行います。さらに、既存薬ライブラリーを用いても薬剤感受性試験を行います。

採取された検体あるいは樹立された細胞株は超低温フリーザーにて凍結保存あるいはホルマリン、PAX固定されたのちパラフィン包埋され、臨床情報及び検体処理情報と合わせ保存します。



樹立した膠芽腫3次元オルガノイド